

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	猿払村役場	代表者	伊藤 浩一	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 市町村直営による地域密着型サービス事業所。 同施設内に地域包括支援センターや地域交流施設を併設している。
事業所名	楽楽心(ララハート)	管理者	長岡 卓		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	人	3人	人	人	1人	人	人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 申し送りの時間を充分にとり、情報伝達を徹底する。 虐待についての内部研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 申し送りを大事にし正しい情報伝達を心がけることが出来ていた。 虐待についての内部研修を実施する事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 申し送りやミーティングについては効率よく実施し時間ばかり経過する会議にならないよう気を付けてほしい。 ずっと同じ人が進行するよりは交代したほうが色々な視点や意見が出るのではないか。 個人個人の自己評価を改めて見直し去年との比較をしながら細かい分析をして進めるといいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の自己評価時に去年の自己評価も渡し比較しながら進めることでよりよい自己評価を行う。 サービスの満足度や意見傾聴のためのアンケート調査を実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 自動ドアの電源の入れ忘れや照明スイッチの入れ忘れに注意し、入りやすい環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動ドアや照明のスイッチを忘れずに入れて入りやすい環境は整えることが出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流施設として小学生や中学生が勉強や遊びのために利用している姿が見られいいと思う。 比較的利用回数の多い方だが施設が新しいこともあり過ごしやすい。 あまり入る機会がないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き小規模登録者や地域交流施設利用者にとって気持ちの良い挨拶と声掛けを行い、環境や身だしなみを清潔に保つ。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に積極的に参加し認知度を高めていけるよう努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に積極的に参加する事が出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事への積極的な参加が見られた。 楽楽心としては知られている部分もあると思うがその中に介護保険の事業所があるという事はまだまだ知られていないと思う。 地区によってまだまだ認知度にばらつきが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域の行事に積極的に参加する。 運営推進協議会委員に楽楽心の行事案内を配布し参加していただけるようはたらきかける。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様も含め地域の行事に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様も含め地域の行事に積極的に参加することが出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の利用者様が地域の行事に参加する姿が見られた。 ・小規模多機能事業所内での障害者雇用もあり利用者以外の地域住民に関わっていると言えるのではないか。 ・時間をかけて事業所としてもっと成熟しながら取り組むべき課題である。 ・地域の人を巻き込み取り組みを実施するためには受け口を広くする必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用者様も含め地域の行事に積極的に参加する。 ・送迎時等に地域住民にアンテナを張り介護保険事業所として認識していただけるような関わりを心がける。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員も会議に参加する。 ・運営推進会議のメンバーに昼食等を一緒に召し上げて頂くことで小規模多機能の普段の様子を見ていただける環境を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状取り組みは遅れているが期間内の実施に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を巻き込んでの取り組みは難しい点と言える。 ・時間をかけて取り組む必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進協議会委員を行事にお誘いする。 ・管理者以外の職員も会議に参加する。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を目に付きやすい位置に配置し誰でも閲覧できるようにする。 ・災害時 30 分以上ライフラインが停止した場合は可能な限り楽楽心に駆けつけ被害拡大を未然に防ぐよう尽力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画の掲示を実施することが出来ていた。 ・期間内にライフラインが停止するような災害は発生しなかったが災害に対する意識は高く持つことが出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄している食料や水はどれくらいあるのか？ (楽楽心自体に備蓄なく役場の方に備蓄している事を説明) ・災害時の避難場所はどこになるのかという質問があり楽楽心は福祉避難場所として指定されている旨説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難場所の職員として災害時ライフラインが停止した場合等可能な限り楽楽心に駆け付け被害拡大を未然に防ぐよう速やかに協力体制をとる。 ・防災訓練の実施を継続する。

